

【1. 概要】

- ・イチゴ苗定植直前に苗を密封して高濃度炭酸ガス进行处理する技術と定植後に天敵類を放飼する技術を組み合わせ、微小害虫の密度を抑制

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・定植直前にイチゴ苗を密封し60%高濃度炭酸ガスを24時間処理することで、苗から持ち込むハダニ類の密度と初期発生を抑制した(別紙図1、3)
- ・定植後一定期間経過した時期に、ミヤコカブリダニ、アカメガシワクダアザミウマを放飼して、ハダニ類、アザミウマ類の密度を抑制した(別紙図2)

(2) 普及にあたって生じた課題等、その理由

- ・炭酸ガス処理は、苗に薬害が発生することがあるので最適な処理時温度を設定した
- ・炭酸ガス処理によりハダニ類の密度を抑制し、低密度の時期に天敵を放飼することで微小害虫の発生を抑制した(別紙図4)

【3. 得られた経験、課題に対する対応・解決策】

- ・農家、農業団体等が所有する予冷庫などを活用した炭酸ガス処理を進めることで面的広がりが期待できるため、既存施設の利用を検討する
- ・カブリダニ剤の利用は定着しつつある。併せてアザミウマ類に対する天敵の導入をすすめ、ハダニ類やアザミウマ類の防除対策を定着させる
- ・生物農薬の天敵にプラスして、土着天敵が活躍できる栽培管理法を検討する



図1. 水封式高濃度炭酸ガス処理装置



図2. イチゴにおける害虫と天敵
 左：アカメガシワクダアザミウマ（天敵）
 右：ヒラズハナアザミウマ（害虫）

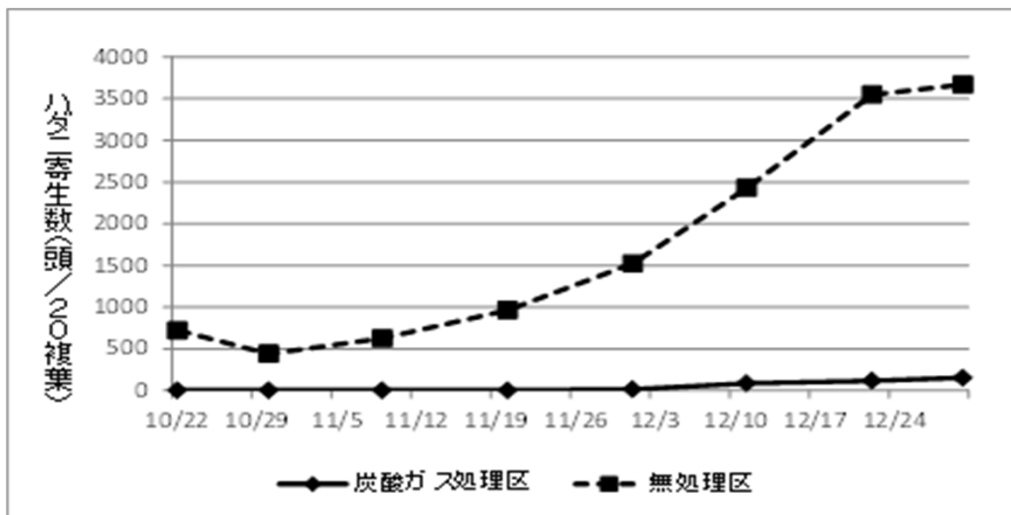


図3. 高濃度炭酸ガス処理後の本圃でのナミハダニの防除効果

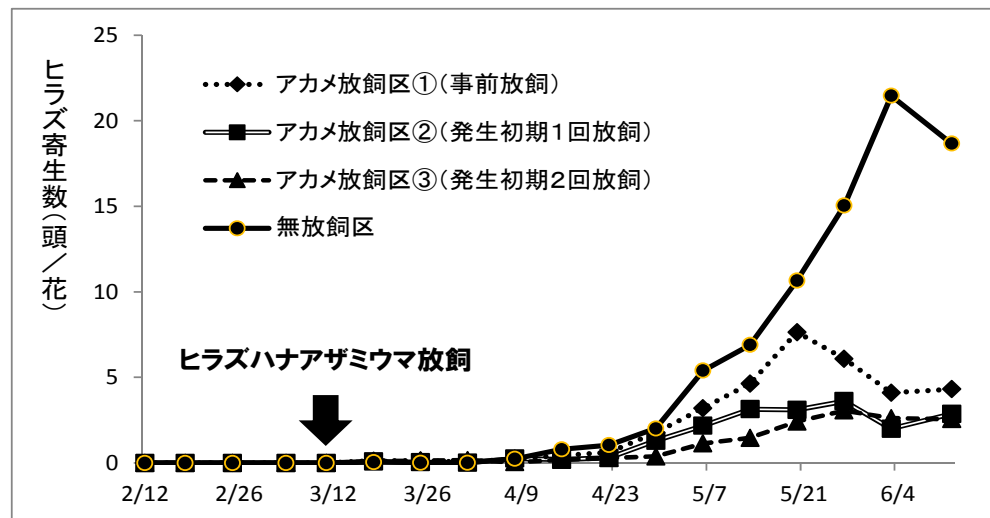


図4. アカメガシワクダアザミウマによるヒラズハナアザミウマ防除効果

【問い合わせ先】
 埼玉県農業技術研究センター病害
 虫防除技術担
 電話：048-536-0409